日本株レポート

エクイティリサーチ

# アイザワ証券株式会社 2022/07/22

審査番号:220722-B1

# 6 営業日続伸。海運が通期予想を上方修正

横山 泰史

業種:日本株ストラテジー

### **く**引けにかけて上昇幅を広げる

昨日の日経平均は前日比+122円(+0.4%)の2万7803円と6 営業日続伸した。寄り直後の日経平均は下落していたもの の、引けにかけて上昇幅を広げた。業種別騰落率では水産 (前日比+1.2%)、海運(同+1.1%)、精密(同+1.1%)が上 昇率の上位、海運3社はコンテナ船市況の値動きが当初予想 を上回っていることから引け後に2023.3期通期予想の上方修 正を発表している。個別銘柄ではニコン(前日比+2.9%)、 TDK(同+2.3%)、富士通(同+2.1%)などが買われ、塩野義 (同▼6.8%)、神戸製鋼所(同▼3.3%)、JFEホールディングス (同▼3.2%)、日本製鉄(▼3.0%)などが売られた。現地21日 の米国市場では、低調な経済指標と原油価格が下落したこと による大幅利上げの憶測後退から、NYダウは前日比+162ド (+0.5%) の3万2036ドル、ナスダックも同+161ポイント(+ 1.3%)の1万2059ポイントと、ともに3営業日続伸で終えた。個 別銘柄では、テスラが前日比+9.7%の大幅上昇、AT&T(同 ▼7.6%)、ユナイテッドエアラインズ(同▼10.1%)が売られ た。WTI原油先物は前日比▼3.5%の96.35ドルであった。米 10年債利回りは前日比で▼0.15%となる2.87%で終えてい る。

## / シカゴ日経平均先物は上昇

シカゴ日経平均先物は大証比+85円の2万7865円で終えており、日経平均は7営業日続伸への期待が高まるといえよう。 今朝のドル円は1ドル137.40円程度(7時現在)で推移している。今日はジャフコグループの4-6月期の決算発表などが予定されている。

果泉市場マーケットナータ		
2022/7/21 現在		
日経平均	2万7803円	
プライム売買代金	2 兆 5079 億円	
プライム時価総額	702 兆 5677 億円	
日経平均予想 PER	13.2 倍	
日経平均 PBR	1.2 倍	
日経平均配当利回り	2.3%	
出所: Quick		

日経平均パフォーマンス

出所: Quick

H 47 1 31 51		
年初来高値	2万9388円	2022年01月05日
年初来安値	2万4681円	2022年03月09日

国内株式売買代金ランキング			
20	22/7/21 現在	株価前日比	
1	レーザーテック	0.4%	
2	ファーストリテイリング	0.5%	
3	東京エレクトロン	<b>V</b> 0.9%	
4	塩野義製薬	<b>V</b> 6.8%	
5	ソフトバンクグループ	0.1%	
6	トヨタ	<b>V</b> 0.0%	
7	日本電産	<b>▼</b> 1.9%	
8	川崎汽船	1.2%	
9	任天堂	<b>V</b> 0.9%	
10	三菱 UFJFG	<b>V</b> 0.1%	

出所: Quick、アイザワ証券作成

### 

# ■ アイザワ証券

### 金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等:アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3283号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関:

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター (略称:FINMAC)

#### 株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお 読み下さい。

### お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料(税込)をいただきます。

対面口座:約定代金に対し、最大1.265%(最大149,875円、2,750円に満たない場合は2,750円)

インターネット口座「ブルートレード」: インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が55万円以下の場合は1,650円、

約定代金が55万円超3,000万円以下の場合は3,300円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265% (最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円)

### アイザワ証券 免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する 最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基 づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませ ん。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化 に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの 対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は 弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないよ うにお願いいたします。

